

住宅改修が必要な理由書

(P1)

<基本情報>

利用者	被保険者 番号		年齢	歳	生年月日	明治 大正 昭和	年	月	日	性別	☐ 男 ☐ 女
	被保険者 氏名		要介護認定 (該当に○)	要支援	要介護						
				1・2	1・2・3・4・5						
	住所										

作成者	現地確認日	令和	年	月	日	作成日	令和	年	月	日
	所属事業所									
	氏名									
	連絡先									

保険者	確認日	平成	年	月	日	評価欄	
	氏名						

<総合的状況>

利用者の身体状況		福祉用具の利用状況と 住宅改修後の想定		
		改修前	改修後	
介護状況		●車いす	☐	☐
		●特殊寝台	☐	☐
		●床ずれ防止用具	☐	☐
		●体位変換器	☐	☐
		●手すり	☐	☐
		●スロープ	☐	☐
		●歩行器	☐	☐
		●歩行補助つえ	☐	☐
		●認知症老人徘徊感知機器	☐	☐
		住宅改修により、 利用者等は日常生活 をどう変えたいか		●移動用リフト
●腰掛便座	☐			☐
●特殊尿器	☐			☐
●入浴補助用具	☐			☐
●簡易浴槽	☐			☐
●その他				
・	☐			☐
・	☐			☐
・	☐			☐
・	☐			☐

小田原市

住宅改修が必要な理由書

(P2)

<P1の「総合的状況」を踏まえて、①改善をしようとしている生活動作②具体的な困難な状況③改修目的と改修の方針④改修項目を具体的に記入してください。>

活動	①改善をしようとしている生活動作	②①の具体的な困難な状況(・・なの で・・で困っている)を記入してください	③改修目的・期待効果をチェックした上で、 改修の方針(・・することで・・が改善できる)を記入してください	④改修項目(改修箇所)
排泄	☐ トイレまでの移動 ☐ トイレ出入口の出入 (扉の開閉を含む) ☐ 便座からの立ち座り(移乗を含む) ☐ 衣服の着脱 ☐ 排泄時の姿勢保持 ☐ 後始末 ☐ その他()		☐ できなかったことをできるようにする ☐ 転倒等の防止、安全の確保 ☐ 動作の容易性の確保 ☐ 利用者の精神的負担や不安の軽減 ☐ 介護者の負担の軽減 ☐ その他()	☐ 手すりの取付け () () () () ()
入浴	☐ 浴室までの移動 ☐ 衣服の着脱 ☐ 浴室出入口の出入 (扉の開閉を含む) ☐ 浴室内での移動(立ち座りを含む) ☐ 洗い場での姿勢保持 (洗体・洗髪を含む) ☐ 浴槽の出入(立ち座りを含む) ☐ 浴槽内での姿勢保持 ☐ その他()		☐ できなかったことをできるようにする ☐ 転倒等の防止、安全の確保 ☐ 動作の容易性の確保 ☐ 利用者の精神的負担や不安の軽減 ☐ 介護者の負担の軽減 ☐ その他()	☐ 段差の解消 () () () ()
外出	☐ 出入口までの屋内移動 ☐ 上がりかまちの昇降 ☐ 車いす等、装具の着脱 ☐ 履物の着脱 ☐ 出入口の出入 (扉の開閉を含む) ☐ 出入口から敷地外までの屋外移動 ☐ その他()		☐ できなかったことをできるようにする ☐ 転倒等の防止、安全の確保 ☐ 動作の容易性の確保 ☐ 利用者の精神的負担や不安の軽減 ☐ 介護者の負担の軽減 ☐ その他()	☐ 引き戸等への扉の取替え () () ☐ 便器の取替え () ()
その他の活動			☐ できなかったことをできるようにする ☐ 転倒等の防止、安全の確保 ☐ 動作の容易性の確保 ☐ 利用者の精神的負担や不安の軽減 ☐ 介護者の負担の軽減 ☐ その他()	☐ 滑り防止等のための床材の変更 () () ☐ その他 () () ()

小田原市

住宅改修が必要な理由書

(P1)

<基本情報>

利用者	被保険者番号	0000123456	年齢	83歳	生年月日	明治 大正 昭和	年	月	日	性別	■男 □女
	被保険者氏名	小田原 太郎	要介護認定 (該当に○)	要支援	要介護						
	住所	小田原市荻窪300番地									

作成者	現地確認日	令和 年 月 日	作成日	令和 年 月 日
	所属事業所	〇〇〇〇〇〇〇		
	氏名	〇〇 〇〇		
	連絡先			

保険者	確認日	令和 年 月 日	評価欄	
	氏名			

福祉用具の利用状況と、改修後想定される福祉用具に"レ点"でチェックしてください。

<総合的状況>

利用者の身体状況	立ち上がりやバランスの保持、移動といった生活動作に関する身体状況を記述してください。 屋内外の移動方法（つかまらないうで歩ける・つえや歩行器利用・車いす介助など）を記述してください。
介護状況	各種介護サービスや家族の介護も含めた介護状況を記述してください。
住宅改修により、利用者等は日常生活をどう変えたいか	利用者や家族が住宅改修によって現在の暮らしをどのように変えたいのか、あるいは継続していきたいのか、またその効果を記入してください。 具体的な改修方針や改修項目は「P2」に記入してください。

福祉用具の利用状況と 住宅改修後の想定		
	改修前	改修後
●車いす	☐	☐
●特殊寝台	☐	☐
●床ずれ防止用具	☐	☐
●体位変換器	☐	☐
●手すり	☐	☐
●スロープ	☐	☐
●歩行器	☐	☐
●歩行補助つえ	☐	☐
●認知症老人徘徊感知機器	☐	☐
●移動用リフト	☐	☐
●腰掛便座	☐	☐
●特殊尿器	☐	☐
●入浴補助用具	☐	☐
●簡易浴槽	☐	☐
●その他		
・	☐	☐
・	☐	☐
・	☐	☐

小田原市

活動	①改善をしようとしている生活動作	②①の具体的な困難な状況(…なので…で困っている)を記入してください	③改修目的・期待効果をチェックした上で、改修の方針(…することで…が改善できる)を記入してください	④改修項目(改修箇所)
排泄	☐ トイレまでの移動 ☐	☐	☐ できなかったことをできる	☐ 手すりの取付け
入浴	☐ ◆改善をしようとしている具体的な動作についてレ点でチェックしてください。 ☐ ◆入浴・排泄・外出活動に関連して、浴室・トイレ・玄関までの移動については各活動の欄にレ点でチェックしてください。	☐ ◆生活動作で困っていること、問題点について、その状況や介護の現状を具体的に記入してください。 (1) 本当は・・・したいのだが、実際には・・・しかできないので、・・・について困っているというように具体的に記入してください。 (2) 「動作」のレベルで、それがどのように困難なのか具体的に記入してください。 (3) 改修案の検討の際は全ての活動についてチェックが必要ですが、理由書では改善しようとする行為に限定した記述を記入してください。 (4) ①のレ点と②の記述の両方を合わせて利用者の状況が伝わるようにしてください。	☐ ◆各活動の困難事項を改善するために、どのような改修を行うのかその方針を”具体的に”記入してください。 例) 可能な限り高さや位置等を記入してください。 ・床から〇〇cmに横手すりを設置することで・・・ ・廊下とトイレの〇cmの段差を解消するためにトイレの床の高さをかさ上げすることで・・・	☐ ◆様々な角度から検討し、決定された改修内容の項目にレ点でチェックし、内容を記入してください。 ☐ ◆改修箇所は、場所だけでなく、改修内容が「手すり」であれば、「便器横壁面」等その取付位置や寸法等も具体的に記入してください。 ☐ ◆「その他」の欄には必要に応じて付帯工事を記入してください。
外出	☐	☐ ◆①②を記入し、現状の問題点を踏まえた上で、改修目的の項目をレ点でチェックしてください。	☐	☐
その他の活動	☐ ◆「その他の活動」の欄には「排泄」「入浴」「外出」以外の活動の生活動作について記入してください。	☐	☐	☐